

平成26年度事業計画書

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会は、平成24年4月より公益法人に移行し、平成26年度に3年目を迎える。

平成25年度は、8月にブルガリアで開催されたデフリンピック、10月にマレーシアで開催されたアジアユースパラ競技大会等の国際大会、第13回全国障害者スポーツ大会スポーツ祭東京2013等の国内大会で多数の兵庫県選手の活躍があった。

平成25年9月には2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、また、2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会への開催立候補、2021ワールドマスターゲームズの関西開催決定など、スポーツへの関心が大きく高まった1年であった。

兵庫県では、「兵庫県スポーツ推進計画（実施計画）」において「障害のある人のスポーツ参加者の増加」のための目標を定め、『障害者スポーツ推進拠点の増加』、『障害者スポーツとの連携に取り組むSC21ひょうごの増加』などに取り組んでいる。

当協会では、今後、国際大会等で活躍するアスリートを支援する一方、障害者がスポーツを楽しむことで、喜びを感じ、自己実現や社会参加を図ることができるよう、障害者スポーツのすそ野の拡大に努めていく。

〔一般会計〕

1 普及啓発事業

(1) (新) 障害者スポーツのすそ野の拡大を推進するための支援事業

障害者が楽しみながら、スポーツに参加するために、障害者団体、障害者施設、体育関係機関等が主催するスポーツ大会等にかかる経費に対する助成を実施する。

- ・助成対象 2団体（各100千円上限）

(2) スポーツクラブ21との連携

① (新) スポーツクラブ21への障害者スポーツ指導員の派遣

地域におけるスポーツクラブ21の活動に参加する障害者を増やすために、障害者スポーツ指導員を派遣し、障害者スポーツの普及・啓発、指導にあたるなどの連携をはかる。

② (拡充) スポーツクラブ21全県サミットへの障害者スポーツ団体の参加

スポーツクラブ21との連携をはかるため、スポーツクラブの代表者が集う全県サミットに平成25年度に引き続き参画し、障害者スポーツの体験企画を実施する。

(3) (拡充) 教育委員会との連携強化

パラリンピック、全国障害者スポーツ大会の所管が文部科学省に移管されること、スポーツ推進計画の推進にかかる連絡調整、情報交換、資源の相互提供（例：スポーツクラブ21スポーツ推進員、障害者スポーツ指導員の相互派遣）など協力関係を構築するため、打合せ会議等を実施する。

- (4) 兵庫県障害者スポーツ功労賞・優秀選手賞の贈呈
障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰する。
- (5) 国際大会派遣選手への激励金贈呈
障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手に対し表敬訪問及び激励金の贈呈を実施する。
- ① 第11回アジアパラ競技大会2014（韓国・仁川）
 - ② 第18回冬季デフリンピック競技大会
- (6) (新) 第3回世界身体障害者野球日本大会の広報
障害者スポーツ関係機関へ広報支援として、大会情報の提供を行う。
- ・ 開催日 平成26年11月1日（土）～2日（日）
 - ・ 場 所 兵庫県立但馬ドーム多目的グラウンド
 - ・ 主 催 日本身体障害者野球連盟
- (7) ホームページ上での情報提供
当協会の実施する事業に加え、県内各地の障害者スポーツ関連イベント等について広く情報を提供するため、県、兵庫県障害者スポーツネットひょうごのHPを活用して、協会ホームページを運用する。
- (8) (拡充) 機関紙発行
当協会が実施する事業について広く情報提供を行い、県民の障害者スポーツへの関心を高めるために、当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した機関紙を発行し、各都道府県、県内各市町、関係団体、障害者スポーツ指導員等に配布する。これまで年1回であった兵庫県障害者スポーツ協会だよりを年2回の発行とし、併せて、賛助会員を募集する。

2 調査研究事業

- (1) (拡充) 障害者スポーツ施設のあり方検討会議の開催
県内の障害者スポーツ推進拠点施設の現状と今後のあり方や施設整備について検討を行うため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「障害者スポーツ施設のあり方検討会議」を平成25年度に引き続き開催する。
- (2) 「障害者スポーツネットひょうご」との連携
県内の障害者スポーツ関係団体を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に平成25年度に引き続き参画し、情報の共有、協働事業の展開等を図る。
- <事業例>・「ひょうごの障害者スポーツサイト」ホームページによる情報発信
・「人材バンク」の運営
・ユニバーサルスポーツイベントとの連携
- (3) (新) 兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会のあり方検討会議の開催
2020年パラリンピック、障害者スポーツのすそ野の拡大を考慮し、参加者募集方法、オープン種目の設定、開催場所、運営方法など、兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の今後のあり方を検討するため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会のあり方検討会議」を開催する。

(4) (新) 全国障害者スポーツ大会派遣選手選考基準検討会議の開催

2020年パラリンピックを見据えて、障害者スポーツのすそ野の拡大を考慮し、派遣選手に占める初出場者の割合、連続出場者にかかる出場制限などの選考基準を検討するため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「全国障害者スポーツ大会派遣選手選考基準検討会議」を開催する。

※ (3)、(4)の会議は同一メンバーによる同時開催とする。

(5) (新) 障害者スポーツのすそ野の拡大を推進するための調査研究事業

障害者が楽しみながら、スポーツに参加するための事業を検討するための事例研究等を実施する。(先進事例視察、報告書作成)

3 障害者スポーツ大会開催費

(1) 第8回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」の選考会に位置づけ、募集要項において選考基準を明示し実施する。また、悪天候も想定し、フライングディスク競技を三木総合防災公園陸上競技場で開催する。

開催期日	競技名	対象	開催場所
4月29日 (祝・火)	車いす使用者陸上 フライングディスク	車いす使用者	ユニバー記念競技場 (補助競技場)
5月16日 (金)	卓球	精神障害者	県立障害者スポーツ交流館
5月17日 (土)	卓球	身体・知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	三木防災公園
5月18日 (日)	水泳	身体・知的障害者	三木山総合公園
5月24日 (土)	陸上競技	身体・知的障害者	三木防災公園
	ソフトボール	知的障害者	三木防災公園
	サッカー	知的障害者	三木防災公園
	フットベースボール	知的障害者	三木防災公園
5月25日 (日)	バスケットボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	バレーボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	ボウリング	知的障害者	神戸六甲ボウル
6月6日 (金)	サウンドテーブル テニス	視覚障害者	県立障害者スポーツ交流館
	バレーボール	精神障害者	グリーンアリーナ神戸

(2) 全国障害者スポーツ大会に向けた選手育成強化

全国障害者スポーツ大会の全競技種目について、派遣候補選手を中心とした練習会や、交流試合等の実施により、選手及びチームの技術力向上を図る。

4 全国障害者スポーツ大会選手派遣費

(1) 第14回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

第14回全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム（団体競技）を決定する下記の近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣する。

競技種目	開催日	会場
車椅子バスケットボール（身体）	平成26年5月25日（日）	大阪市
バスケットボール（知的男子・女子）	平成26年6月8日（日）	京都府
バレーボール（聴覚男子・女子）	平成26年6月8日（日）	大阪市
バレーボール（知的男子・女子）	平成26年6月22日（日）	和歌山県
バレーボール（精神）	平成26年6月14日（土）	滋賀県
フットベースボール（知的）	平成26年6月22日（日）	和歌山県
グラウンドソフトボール（視覚）	平成26年5月25日（日）	大阪市
ソフトボール（知的）	平成26年6月1日（日）	堺市
サッカー（知的）	平成26年5月31日（土）	兵庫県

(2) (新) 第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」への選手派遣

長崎県で開催される第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」に兵庫県選手団を派遣する。

- ・大会期間 平成26年11月1日（土）～3日（祝・月）
- ・派遣期間 平成26年10月31日（金）～11月4日（火）
- ・開催場所 県立総合運動公園（諫早市）ほか
- ・派遣人数 個人競技56名、役員44名
団体競技（近畿地区予選会の結果による）

(3) 第14回全国障害者スポーツ大会派遣選手事前練習会の開催

第14回全国障害者スポーツ大会派遣選手を対象に、競技力の向上を図るため、各競技に精通した指導者を招き技術指導を行う。

- ・内容 陸上・フライングディスク、水泳・卓球
- ・実施時期 平成26年9月6日（土）、15日（祝・月）、10月19日（日）
- ・場所 県立明石公園陸上競技場、西宮市総合福祉センター

(4) (新) 全国大会選手派遣に向けた事前調査の実施

円滑な全国大会選手派遣を目的として、事務局職員を長崎県に派遣し、競技会場・練習会場・宿泊施設・交通手段等について事前調査を実施する。

(5) 第26回全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催される第26回全国車いす駅伝競走大会に兵庫県選手団を派遣する。

- ・開催日 平成27年2月～3月頃予定
- ・開催場所 西京極運動公園マラソンコース（京都市）

5 全国車いすマラソン大会開催費

全国から参加者を募集し、篠山城跡マラソンコース（日本陸連公認コース）を利用して車いすマラソン大会（フルマラソン及びハーフマラソン）を開催する。

- ・開催日 平成26年9月28日（日）
- ・開催場所 篠山城跡マラソンコース（篠山市）
- ・参加者 選手約150名、競技役員・ボランティア約1,000名

6 全国障害者スポーツ大会選手育成事業

全国障害者スポーツ大会の出場に向けて、各団体が実施する練習会、交流試合のかかる経費を助成し、選手の育成、強化をはかる。

7 事務局体制の強化

(1) 財政基盤強化のための取組

① 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に年2回の機関誌発行の送付の際に加入を呼びかけるとともに、県内下の障害者スポーツ指導員に加入を呼びかけていく。

② 協賛企業の開拓

兵庫県のじぎくスポーツ大会、全国車いすマラソン大会等の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、大会プログラムへの広告掲載を積極的に行い、広告料収入の拡大を目指す。

③（拡充）障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機の設置台数の増加を推進するため、市町・学校・企業等に対して飲料販売企業と同行訪問し販促活動を行う。

(2)（拡充）事務局体制の強化

引き続き3名体制とするが、嘱託員3名（経理1名、事業担当（スポーツ経験者）2名）を配置する。また、事業担当者は障害者スポーツ指導員（初級）の資格取得を目指す。

〔基金会計〕

1 障害者等スポーツ種目普及事業〔スポーツ奨励事業〕

(1) 障害者スポーツ普及・育成事業

サッカーのヴィッセル神戸やバレーボール実業団チームなどの県内プロスポーツや企業スポーツチーム、又、パラリンピック出場アスリート、一般競技団体指導者等の参画を得て、障害者スポーツの普及と選手育成を図るために実施する練習会、教室等に対し経費の一部を助成する。

- ・助成団体 2団体
- ・助成額 上限200千円（対象経費：会場使用料、派遣経費等）

2 競技別県大会開催等支援事業〔競技種目別県大会等開催支援事業〕

団体が主催する競技大会及び練習会開催経費の一部を助成するとともに、大会情報発信の充実により競技人口の拡大や競技団体の競技力向上を図る。

- ・助成団体 25団体
- ・助成額 開催経費の1/2以内（下限40千円、上限80千円）

3 兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会開催事業

障害者スポーツの振興に関わる指導者の養成を行い、地域に配置することで地域の障害者スポーツの振興を図る。

特に、障害者スポーツのすそ野拡大や競技力向上のための人材確保に向け、市町社会福祉協議会等の担当職員やスポーツ推進委員、SC21ひょうご関係者、一般競技団体のスポーツ指導者、特別支援学校教員、大学生を対象に、受講促進を図る。

- ・研修期間 平成27年1月（3日間）
- ・研修場所 県立障害者スポーツ交流館ほか
- ・募集人数 100名
- ・受講料 2,000円（所属団体の推薦がある場合は免除）

4（拡充）ボランティア育成支援事業

県内の大学・短期大学・専門学校や企業等に、各種大会のスタッフとして活動する障害者スポーツボランティアとして参加を積極的に呼びかけ、障害者理解の促進に取り組む。具体的には、のじぎくスポーツ大会でボランティア参加実績のある大学、高校に加え、障害者スポーツ指導者養成認定校などに参加を働きかける。

5 スポーツ奨励事業〔障害者スポーツ奨励事業〕

障害者スポーツの振興に有意義な研究会の開催や指導者・ボランティアの資質向上のための研修会、競技力向上のための審判講習会等の事業に対し、経費の一部を助成する。

- ・助成団体 全県レベルの障害者スポーツ振興を目的とする団体
- ・助成額 開催経費の1/2以内（上限30千円）

6 障害者スポーツフェスティバル事業〔障害者スポーツフェスティバル開催支援事業〕

障害の有無や程度・種類に関係なく、誰もが楽しむことができる大会やイベント等の開催を支援することにより、障害者スポーツのすそ野を図る。

- ・支援対象 10大会
- ・助成額 開催経費の1/2以内（上限30千円）

7 競技別全国大会派遣経費支援事業〔障害者スポーツ競技種目別全国大会等派遣支援事業〕
競技団体の競技力向上等を図るために、団体が派遣する全国大会の派遣費用の一部を助成する。

- ・助成団体 21 団体
- ・助成額 派遣経費の 1/2 以内（下限 30 千円、上限 60 千円）

8 競技団体設立支援事業〔障害者スポーツ競技別団体設立・育成支援事業〕
競技団体が無い競技スポーツについては、全県的な競技人口の拡大を図るため、競技団体設立に要する費用の一部を助成する。

- ・助成団体 4 団体
- ・助成額 設立経費の 1/2 以内（上限 50 千円）